

沢地小だより



第5号 令和2年7月31日

～ 地域の方々に支えられて ～

本来ならば夏休みが始まっている時期ですが、今年度は8月7日まで授業となりました。新型コロナウイルス感染症への対応で、異例づくめの毎日が続いています。その様な中でも“沢地っ子”は毎日元気に学校生活を送っています。

7月4日、11日の両日に「粋なおやじの会」、「スクールガード」の皆様が通学路の紫陽花を剪定してくださいました。通学路に文字通り色を添えてくれた紫陽花も、花が一段落したところでした。

沢地小では、春には校庭の桜、梅雨時には通学路の紫陽花が本当にきれいに咲いています。今年度沢地小に赴任したばかりの私（校長）ですが、最近になって、桜も紫陽花も自然の力だけで咲いているわけではないことを知りました。紫陽花は来年きれいに咲かせるために、この時期に剪定するのだそうです。我が家の紫陽花は、秋に剪定したら花が咲きませんでした。校庭の桜も紫陽花も3月上旬に施肥して下さったそうです。

また、七夕には子供たち全員に1本ずつ笹の枝を頂きました。各学級で子供たちの願いをつけた笹が飾られました。

地域の方々に見守られながら、きれいな花や、季節の伝統行事を通して子供たちの心が豊かに成長しているように感じています。

このほかにも、登下校時の見守りや学校花壇の環境整備等、様々な場面で沢地小は日々支えられています。

きれいな花を咲かせるには、適切な時期に適切な支援を行うことが大切であることをあらためて実感しました。このことは、子供たちへの教育にも通ずることだと思います。地域の皆様に支えられながら、これからも日々の教育活動に取り組んで参ります。これからもよろしくお願いいたします。



紫陽花の剪定



七夕飾り

～ 短いからこそ充実した夏休みに！ ～

今年度の夏休みは8月8日から19日までの12日間です。

新型コロナ対策で何かと制約も多いと思いますが、子供たちには短いからこそ充実した夏休みにしてほしいと思います。子供たちが自分で考え、工夫しながら目標や計画を立てた上で夏休みを迎えられるよう、御家庭でも御支援よろしく願いいたします。

今年度は学校からの夏休みの課題等を必要最小限に絞りました。家庭において夏休みだからこそできる体験に挑戦したり、6月からの学習を再度じっくり見直してみたりして、夏休みが終わった後には成長が感じられるような、短くても中身の濃い、思い出に残る夏休みにしてほしいと思います。

夏休みには気持ちが大きくなり、ついついにはしゃぎすぎてしまう子供たちも多いと思いますが、子供たちが元気に、そして安全に過ごすことができますよう、家庭や地域での見守り・声かけをお願いします。

